

サーバ監視ソフト ServerView RAID Manager、ServerView Agentless Service と Linux OS の組み合わせによるデータ欠損事象の発生環境確認、対処方法

03 版 2018 年 1 月

富士通株式会社

対象の確認方法について

対象となる SVRM または SVAS の版数、Linux OS のカーネル版数及びハードディスクのパーティション設定の確認方法は以下の通りとなります。

【ServerView RAID Manager の版数の確認方法】

ターミナルウィンドウで下のコマンドを実行します。

```
#rpm -qa | grep ServerView_RAID  
ServerView_RAID-<版数>.el7.x86_64
```

コマンドを実行した結果、SVRM の版数が<版数>に表示されます。何も表示されない場合は、SVRM はインストールされていません。 <版数> が 6.4-11~6.5-6 の場合、該当します。

【ServerView Agentless Service の版数の確認方法】

ターミナルウィンドウで下のコマンドを実行します。

```
#rpm -qa | grep SVAS_SVRAID  
SVAS_SVRAID-<版数>.el7.x86_64
```

コマンドを実行した結果、SVAS の版数が<版数>に表示されます。何も表示されない場合は、対象となるモジュールはインストールされていません。 <版数> が 6.4-11~6.5-6 の場合、該当します。

【Linux OS のカーネル版数の確認方法】

ターミナルウィンドウで下のコマンドを実行します。

```
#uname -r  
3.10.0-327.el7
```

表示された文字列が版数となります。上記の場合、3.10.0-327 が版数になります。

Red Hat Enterprise Linux 7.2 :

3.10.0-327 ~ 3.10.0-327.18.2 の場合、該当します。

Citrix XenServer 7.0、7.1、7.2 :

全版数 (3.10.96-484 以降) 、該当します。

Oracle Linux /Red hat 互換カーネル 7.2 :

3.10.0-327 ~ 3.10.0-327.18.2 の場合、該当します。

Oracle Linux /UEK (Unbreakable Enterprise Kernel) 7.2、7.3、7.4 :

3.10.0-327 ~ 3.10.0-327.18.2 の場合、該当します。

コマンドの結果に含まれる Linux OS のメジャーバージョンを表す文字列が “el7uek” となる場合、該当します。

コマンドの結果例 :

```
4.1.12-94.3.9.el7uek.x86_64
```

【ディスクのパーティション設定の確認方法】

ターミナルウィンドウで下のコマンドを実行します。

```
# ls /dev/sd*
```

パーティションが設定されている場合、ディスク全体を表すデバイスファイル(/dev/sda , /dev/sdb など)とパーティションを表すデバイスファイル(/dev/sda1, /dev/sda2 … など)が表示されます。

```
# ls /dev/sd*  
/dev/sda /dev/sda1 /dev/sda2
```

パーティションが設定されていない場合は下のようにディスク全体を表すデバイスファイル(/dev/sda)しか表示されません。この場合、該当します。

```
# ls /dev/sd*  
/dev/sda
```

対処方法について

対象となる版数及びディスクのパーティション未設定でご利用いただいているお客様につきましては、以下のいずれかの対処を実施していただきますよう、お願いいたします。

(1) 不具合の発生しない「SVRM」「SVAS」の更新版の適用

本不具合を修正した SVRM および SVAS の提供を行っております。

SVRM 6.5.7(公開日：2017年12月26日)以降

SVAS 8.20.10(2版)(公開日：2018年1月12日)以降

提供後、以下のサイトから入手していただき、適用を行ってください。

PRIMERGY システム

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

PRIMEQUEST システム

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/download/>

※留意事項

- SVAS は ServerView Agents の一部として公開しています。
SVAS を入手する際は「ServerView Agents for Linux/Citrix XenServer V8.20.10」以降をダウンロードしてください。
- 2018年1月12日以降に公開された SVAS をご使用ください。
それ以前に公開されていた V8.20.10 では本不具合は修正されておりません。
添付の Readme.txt に「ServerView Agentless Service for Linux V8.20.10(2版)」と記載されているものが不具合を修正した版数です。

(2) SVRM、SVAS 監視モジュールの利用を停止する設定に変更

ご使用いただいている SVRM、SVAS において本不具合の起因となる LMD (Linux Multiple Device) 監視モジュールを停止する設定に変更をお願いします。

※留意事項

本対処を実施すると、LMD の監視を行わなくなります。これにより、SVRM、SVAS を使用して Linux OS のソフトウェア RAID の監視、障害の通知を行っていただくことができません。

本対処を実施している間、定期的に以下のコマンドを実行していただくことで、ソフトウェア RAID の状態をご確認いただけます。

```
# cat /proc/mdstat
```

なお、LMD 監視以外のハードウェア監視機能等の SVRM、SVAS の機能については影響ありません。

(3) Linux OS のカーネル版数を不具合の条件以外の版数に変更 (アップデート)

本不具合が生じない以下の Linux OS カーネル版数へアップデートを実施してください。

適用版数：

| Linux OS 種類 | 版数 | 適用カーネル版数 |
|--|-------------------|--|
| Red hat Enterprise Linux | 7.2 | kernel-3.10.0-327.22.2.el7以降 |
| Citrix XenServer | 7.0 7.1 7.2 | アップデートでは回避できないため「Linux OS のカーネル版数のアップデート」以外の対処を実施していただきますよう、お願い申し上げます。 |
| Oracle Linux / Red Hat 互換カーネル | 7.2 | kernel-3.10.0-327.22.2.el7以降 |
| Oracle Linux / UEK (Unbreakable Enterprise Kernel) | 7.2 7.3 7.4 | アップデートでは回避できないため「Linux OS のカーネル版数のアップデート」以外の対処を実施していただきますよう、お願い申し上げます。 |

(4) パーティション未設定のディスクに対してパーティションを設定

パーティションの設定をされていないディスクに対して、1つ以上のパーティションを設定してください。

対処の実施方法について

【SVRM、SVAS の不具合発生に起因する監視モジュールを停止する設定変更方法】

以下の手順で監視モジュールの停止を行ってください。

SVRM の場合

1. /opt/fujitsu/ServerViewSuite/RAIDManager/bin/amMPX.ini を変更します。
変更前) Library = piLMD,enabled
変更後) Library = piLMD,disabled
2. SVRM サービスを再起動します。
systemctl restart svraid.service
3. ServerView Agents がインストールされている場合は、ServerView Agents を再起動します。
/usr/sbin/srvmagt restart

SVAS の場合

1. /opt/fujitsu/ServerViewSuite/RAIDManager/bin/amMPX.ini を変更します。
変更前) Library = piLMD,enabled
変更後) Library = piLMD,disabled

2. SVAS 関連のサービスを再起動します。
systemctl restart svraid.service
/etc/init.d/svas restart

【Linux OS のカーネルのアップデート方法】

アップデート方法については各 Linux OS の手順に従って作業を実施してください。

【パーティション未設定のディスクに対してパーティションの設定（作成）方法】

パーティション設定方法については各 Linux OS の手順に従って作業を実施してください。
